

緊急時に備え「なによりも命が大事」

各字に AED 設置を

甲良町議会 6月定例会で西澤議員はAEDの機能、活用、全ての公民館にAED設置の補助を求め一般質問を行いました。西澤議員の質問を要約して紹介します。

西澤議員は、元消防士のYさんから助言と要望を受け、Yさんと町長との面談に同席した内容を参考にして町の見解を質（ただ）しました。

心肺停止後3分で 救命率50%

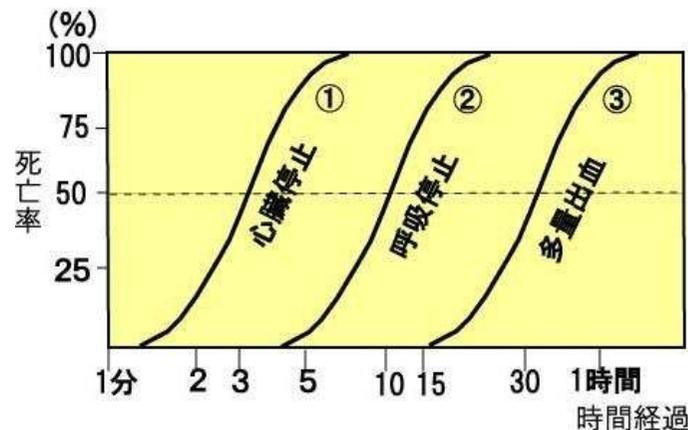
まず、AEDの機能と設置の意義について質問。総務課長は、AEDは、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能が失った状態になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機能を有するもの」と説明。さらに「消防署の資料によれば、心肺停止の傷病者を3分間手当てしないと、救命率（心肺と呼吸が戻り、意識が戻る率）は50%となる。また、5



甲良町役場一階に設置のAED

分手当てをしないと、救命率は20%になると。そのことから、救急車の到着より先に手当てをするのは、大いに意義があるものと感じている」と回答しました。

西澤議員は「大の命は何にも代えがたいもの。いざのときには何よりも最優先で人命救助に当たらなければならぬ」と指摘し、町内の公共施設、各



- ①心臓停止後約3分で50%死亡
- ②呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③多量出血後約30分で50%死亡

→右図はカーラーの救命曲線「ウエブサイト」カーラーの救命曲線」より

字公民館などの設置状況を質問。

AED設置は5字のみ

その回答によれば、11施設13台を設置。役場、福祉センター、運動公園など、学校関係では、7施設10台（こども園、小学校、また本庁及び体育館）設置。字公民館では、尼子、小川原、北落、法養寺、横関の5集落に設置しているとのこと。

質疑を通じて、総務課長は、入電から到着まで統計では9.4分、彦根消防の犬上分署からの資料によれば平均7分28秒であることから、救急車の到着前の手当てが決定的に重要と指摘。

補助制度の充実を

西澤議員は全ての字にAEDが設置できるように補助制度の充実を要請。

これに対し総務課長は、消防防災の施設整備の補助金があり、他の市町とも参考に、対応も今後確認をしていきたい」との回答に留め、補助制度を充実するには至りませんでした。

今後とも住民のみなさんと「命こそ最優先」をつらぬく施策の充実を求めてまいります。

甲良民報

2023年7月16日 889号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949

©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】